

国際原子力機関(IAEA)による福島第一原子力発電所の
ALPS処理水の取扱いに関する安全性レビューミッション
(海洋放出開始後第3回)
報告書概要

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- ✓ 当社は、福島第一原子力発電所の着実な廃炉に向けて、2023年8月24日からALPS処理水の海洋放出を開始しました。
- ✓ ALPS処理水の海洋放出にあたっては、放出前から原子力分野の専門機関である**国際原子力機関（IAEA）による一連のレビューを受けており、2023年7月4日、それまでのレビューを総括する包括報告書が公開**されました。
- ✓ 包括報告書では、それまでのレビューの結論と共に「**IAEAは、ALPS 処理水の放出前のみならず、放出中及び放出後も、ALPS処理水の放出に関し、日本に関与することにコミットします。**」また、「**継続する追加的なレビュー及びモニタリング活動が予定されており、それは継続的に関連する国際安全基準の適用を提供していくことで、国際社会に対し、更なる透明性及び安心を提供します**」としています。
- ✓ **2024年12月、来日したIAEAタスクフォースにより、海洋放出開始後3回目となるレビューミッションが実施され、2025年3月24日、その報告書が公表^{†1}されました。**
- ✓ 本冊子では、レビューミッション及び報告書の概要を紹介します。

†1 報告書は、IAEAのHPで公開されています。報告書（英文）は右の二次元バーコードからご確認ください。
<https://www.iaea.org/sites/default/files/third-alps-task-force-mission-report-after-the-start-of-the-discharge-200325.pdf>



IAEAによるレビューミッションの概要

日程：2024年12月9日から12日

- IAEAのグスタヴォ・カルーソ調整官を含むIAEA職員及び国際専門家^{※1}からなるIAEAタスクフォース（以下、タスクフォース）により実施
- 放出開始前やこれまでの放出開始後のレビュー^{※2}と同様の技術的観点^{※3}から、日本政府と当社は、海洋放出開始後の取組状況や放出開始後1年間の放射線環境影響評価について、IAEAタスクフォースとの間で議論



レビューミッションのオープニングセッションでの
IAEA・カルーソ調整官
(2024年12月9日 外務省)



測定・確認用設備をご視察するタスクフォース
(2024年12月11日 福島第一原子力発電所)



移送設備をご視察するタスクフォース
(2024年12月11日 福島第一原子力発電所)

※1 タスクフォースのうち、6名のIAEA職員と、9名の国際専門家が来日
 (国際専門家：アルゼンチン、英国、カナダ、韓国、中国、フランス、米国、ベトナム、ロシア)
 ※2 放出開始前やこれまでの放出開始後のレビューの詳細については、こちらをご覧ください
 東京電力：処理水ポータルサイト IAEAによる安全性確認ページ

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/safetycheck/>

※3 主な技術的観点は以下のとおりです

- ①規制管理と認可、②放出管理のシステムとプロセスに関する安全性、③ALPS処理水の特性評価
- ④放射線環境影響評価、⑤ALPS処理水と環境のモニタリングプログラム、⑥利害関係者の関与
- ⑦職業的な放射線防護



処理水ポータルサイト
IAEAによる安全性確認

今回のレビュー報告書のポイント

- タスクフォースにより、関連する国際安全基準の要求事項と合致しない点も確認されなかった。したがって、IAEAは、2023年7月4日の包括報告書に記載された安全性レビューの根幹的な結論を再確認することができる。
- タスクフォースは、機器及び設備が実施計画及び関連する国際安全基準に合致した方法で設置され、運用されていることを確認した。
- タスクフォースは、東京電力と日本政府から報告されたデータの正確性と信頼性について、包括的で透明性のある独立した検証を行う上で、IAEAの継続的な裏付け活動とオンサイトでの独立したテストと分析が重要であることを指摘した。

包括報告書（2023年7月公開）の主な結論

- ALPS処理水の海洋放出に対する取組及び、東京電力、原子力規制委員会及び日本政府による関連の活動は、関連する国際安全基準に合致している。
- 東京電力により計画されている ALPS 処理水の放出は、人及び環境に対し、無視できるほどの放射線影響となる。



包括報告書（左）と原文へのリンク（右）

今後のIAEAの活動について

- タスクフォースは、東京電力と原子力規制委員会の活動が関連する国際安全基準に合致しているかどうかを評価するため、引き続きレビューを行う。
- タスクフォースは、次回は、ALPS処理水のモニタリングプログラムとその結果に重点を置いたレビューミッションを2025年前半に行うことを提案した。



グロッシェーIAEA事務局長

包括報告書公開時（2023年7月）の グロッシェーIAEA事務局長のコメント

「処理水の最後の1滴が安全に放出し終わるまでIAEAは福島にとどまる。IAEAは、今後数十年にわたって、この計画の有効性を確認し、点検・レビューしていく。」

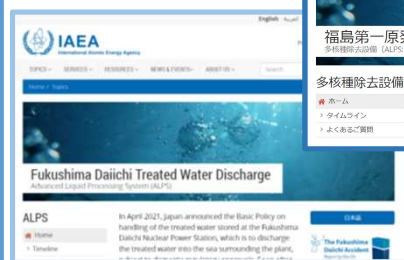
当社は、引き続きIAEAの国際安全基準に照らしたレビューを受け、安全確保に万全を期すとともに、ALPS処理水の海洋放出に関するデータ、科学的根拠に基づくレビューの内容などについて、広く国内外の皆さまへ透明性高く発信してまいります。

IAEA (International Atomic Energy Agency)とは

- 原子力の安全・平和的利用のために活動する国連傘下の機関
- 1957年の設立以来、原子力の「平和的利用の促進」と「軍事転用防止」を目的として、**180（2024年11月現在）の加盟国、関係機関等と緊密に連携して活動**
- 放射線に対する健康と環境の保護という使命のため、国連のIAEA憲章において認められた「安全基準」の策定・採択の権限を保有
- 様々な分野の専門家が所属する「IAEA環境研究所」が付置され、放射性物質の環境影響およびその防護について包括的知見を所持
- 福島第一原子力発電所の廃炉プログラム全体に係わる審査も実施

【ALPS処理水に関する特設ページ】

英語ページ↓



日本語ページ↑



IAEA

International Atomic Energy Agency



IAEAのグロッシェ事務局長によるALPS処理水関連設備の視察（2022年5月）

主な掲載事項

- ・ レビューミッションの概要、報告書の掲載
- ・ ALPS処理水放出設備の構造と原理の解説
- ・ IAEAが行うALPS処理水のモニタリング方法 など



←IAEA公式ページ

IAEA公式日本語ページ➡



TEPCO



〈本冊子は以下のページでも公開しております〉

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

「処理水ポータルサイト」 ホームページURL

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/>